アシュラム
ASHRAM

2020. 3月第616号

発行所　アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編　集　アシュラム誌編集委員会

振　替　01050-6-53772
アシュラムセンター

印　刷　明文舎印刷商事（株）

解　題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもってみ前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

瞑想

目を覚ましていなさい。

マルコ13：37

主幹牧師　榎本　恵

マーティン・ルーサー・キング牧師が1968年、ワシントンDCにあるナショナル大聖堂で語った説教「大革命時代に目を覚ましていること」の中で、最初に触れているのは「リップ・ヴァン・ウィンクル」の物語だ。リップ・ヴァン・ウィンクルが20年の眠りから目覚め、山に登り見つけた標識はいつのまにか英国王ジョージ3世の絵からジョージ・ワシントンの絵に変わっている。20年の間眠りこけていた彼はそれが誰だかを知らなかった。

キングはこのアーヴィングの短編小説を引用しこう語っている。「彼は革命の間眠っていたのである。人生における最大の障害の一つは、あまりにも多くの人々が社会革命の大事な時期に、新しい状況が求めている新しい生活態度、新しい精神的応答を発展させないということである。こうして彼らは革命の間に眠りこけてしまうのである。」

「革命」という激しい言葉に、私たちは少し引いてしまうかもしれないが、黒人の公民権運動、またベトナム反戦の大きなうねりが近づくワシントンの大聖堂で、キング牧師はそこに集う人々に、そして全世界の人々に向かって預言者の如く大胆に語ったのだ。「眠りこけるな。目覚めていよ」と。

「あなたがたに言うことは、すべての人に言うのだ。目を覚ましていなさい」（マルコ13：37）。今月与えられたローズンゲンのみ言葉は、小黙示録として知られる主の終末預言の最後の言葉である。「人に惑わされないように気をつけなさい」（マルコ13：5）という言葉から始まる、この預言の中で、イエスは、4度「目を覚ましていなさい」を繰り返す。もちろん、それは肉体的意味でというわけではない。この「目を覚ます」と訳されているギリシャ語「グレーゴレイン」は、英語では「watch」と訳される。そこには「注意深く」、「用心し」、「油断なく」などという意味がある。ただ目を開けているのではなく、時のしるしを、その兆しを、決して惑わされることなく、見極めていく。これこそがどの時代にあっても「終末の時」を待つ、私たちキリスト者の態度なのではないだろうか。

主はこの中で、その目覚めているものの姿を、旅に出かけた主人を待つ門番に喩える。「家の主人（＝教会の主イエス）は旅に出て（＝昇天）不在である。《僕たち》あるいは《門番》（＝教会の信徒）は主人の突然の帰宅（＝再臨）に備えて常に目を覚ましていなければならない。」（「新共同訳注解」より）注解書はこう解説する。そしてこう語るのだ。主は「僕たちに仕事を割り当て責任を持たせ」（マルコ13：34）ている、と。

「その日、その時は、誰も知らない」（マルコ13：32）、しかし、人はその与えられた役割を、主の再び来る日を待ち望みながら、その責任を果たしていかなければならない。これこそが、私たちの注意深く、用心し、油断なく生きていく、目覚めなのではないだろうか。

新型コロナウィルスが、世界を恐怖に陥れ、環境汚染に地球が悲鳴を上げている。戦争の噂に動揺し、国と国、人と人が、自分ファーストを叫ぶ。そんな「憎むべき破壊者が立ってはならないところに立つ」（マルコ13：14）ようなこの時代に、私たちは、惑わされ動揺してはならない。しかし同時に、リップ・ヴァン・ウィンクルのように、まどろみ眠りこけるわけには行かない。

友よ、かつてイスラエルの民は雲の柱、火の柱に従い、歩んだ。そして「二日でも、一ヶ月でも、何日でも、雲が幕屋の上をとどまり続ける間、（中略）旅立つことをしなかった」（民9：22）という。彼らはその待っている時、まさに主によって与えられたそれぞれの役割の責任を果たしつつ、いつ雲が動き出してもいいように準備し続けたのだ。

主の再び来たりたもうその日まで、私たちもそんな目覚めたものとなろうよ。

調布教会修養会「聴くこと、祈ること。」を終えて

土方　淳子

まず初めに調布教会修養会のために榎本恵先生をおつかわし下さった神様と、お忙しい中快くお越し下さった榎本先生に、心から感謝致します。二日間に分けての修養会では、まず礼拝でみ言葉を取り次いで頂き、さらに日曜日午後と翌祝日の月曜日朝から午後二時にかけて、４つのグループに分かれて一人ずつ「黙想の時」として聖書をじっくり読み、心に留まったみ言葉についてそれぞれの思いを語って皆で共有し、最後に榎本先生に総括して頂く、という形で行われました。今回の修養会にあたり、アシュラムの会に参加経験のある田村牧師からその内容を伺ってもイメージがわかず、また慌ただしい日々の生活の中で、このような「黙想」の機会がなかった我々にとって、四十分という長い時間、一人で聖書に向き合うとは果たしてどのような時なのかと、正直不安がありました。しかしまず礼拝説教の中で我々がどのような姿勢で聖書に向き合えば良いかの一端を示して頂き、その後修養会の「黙想」の時を経験して、これまで聖書を読んできたつもりになっていたその姿勢が、本来向かうべき姿といかに違うものであったかを知らされ、目からうろこの連続でした。今後我々はどう聖書と向き合い、信仰生活に活かしていくべきかを、改めて示して頂いたのです。新たにされた自分達の幸いを感謝しつつ、榎本先生にはこれからも、一人でも多くの方にこの素晴らしい体験を示していって頂きたいと心から願っています。

（日本キリスト教団　調布教会）

初めてのアシュラム

第45回年頭アシュラム　主と皆様の待望祈祷に支えられ、恵みのうちに開かれましたこと、感謝申し上げます。

今回、早天　ご奉仕の、早野姉（祈りのたて琴・キャロルサック姉愛弟子）より、お便りが届きましたので、一部をご紹介いたします。

早野　潤子

・・・年頭アシュラムでは、たいへんお世話になり、ありがとうございました。静聴の時、恵みの時、ファミリー制・・・アシュラムの独特の黙想会のあり方に、はじめて与りましたが、とても素晴らしい、営みですね！３日間同じファミリーとしてご一緒した姉妹からはさっそくメールをいただき、お互いに離れていても、祈り合うお仲間ができました事、とても嬉しく思いました。リラ・プレカリアの同期生は２年間の〝修業〟生活と学びを一緒にして、本当の姉妹のように（あるい

癒しの早天祈祷会（昨年の国際正義平和アシュラムin札幌に引き続き）

ご献金者
敬称略
12月分
明石シオン
村瀬　俊夫
脇　萬理子
金山　良雄
廣石　聡子
石田　哲夫
向井　瑩治
向井　浩子
野波志都子
無　名　氏
安島　静枝
金子　初子
榎本　和子
橋本るつ子
柳沢ユキエ
瀬戸　昭
日本基督教団
和歌山
新生伝道所
串良
キリスト教会
三好　晴夫
籔内キヨエ
今泉　晶久
野崎　康明
吉井　正子
森　よし子
坂井　堅
藤本　岩夫
藤本キク江
滝澤佐和子
帰家　雄治
帰家　玲子
京浜アシュラム
事務局
大宮司　信
北山　禧子
福江　義史
沖田　朝子
平井　玲子
川村　哲嗣
真木　芳子
村田　豊子
広野祈りの家
猪瀬　和子
松村　玲子
櫻井　麻由
福岡聖書教室
樋口　栄子
眞柴　美恵子
片岡フジ子
土屋　聡
土屋めぐみ
雀部喜久子
山田　秀穂
関根　義夫
豊永　康子
榎本久美江
越智　千歳
上柿　京子
香川　孝子
佐賀　昭子
正岡リツコ
山田喜久子
藤井　光恵
齋藤　星耕
齋藤　明古
鈴木　茂夫
江田島
キリスト教会
宮崎　章
西野　栄子
照屋　新一
花崎　鈴子
猶原　順子
芳賀藤吉郎
多鹿千恵子
仲宗根留美子
川井　綾子
松浦　功
本多英一郎
佐藤　智子
荒木　千博
櫻井　愛子
端戸　朋子
秋田谷章子
西田　章子
室崎　洋子
平山　秀雄
田中美知子
佐藤　祥子
柏村　忍
水野　礼子
牧野　伴子
金田　健一
金田　和子
相川　良子
堀　和子
上田　勝
辻田志津子
小西美智子
鹿屋
キリスト教会
七野　栄子
大阪聖書教室
竹本　進
無　名　氏
鈴木　俊夫
今村　芳雄
高山美津江
久遠基督教会
佐藤　亜紀
安藤いづみ
カフェちいろば
聖書入門講座
大山　悠子
渡辺美寿子
本名　愛子
小川　久恵
永島　喜代
松田美奈子
沼田　進
常任運営委員会
柿崎江美子
石原　誠
石原　繁子
日本
キリスト教団
三島真光教会
吉田すみゑ
榎本　恵
榎本　康子
竹下　高子
植草　榮一
大原　勲
冨山　桂子
渡辺　信治
野村　昌代
宇野　進
河村　琢郎
後宮　松代
静岡聖書教室
無　名　氏
塩沢ふさ子
池谷　治朗
池谷　寿子
池谷　治朗
木下　光江
塚田　政司
菅原　博
戸井　雄二
西川　利栄
加藤　庸子
米田　康子
米田　歌子
東京聖書教室
溝井　瑞穂
山崎　義人
片山　良明
毛利　由栄
島　隆三

はそれ以上）霊的な絆で結ばれていますが、アシュラムに参加させて頂き、もう一つファミリーが増えたようなそんな気持ちにもなりました。・・・また、リラの姉妹を誘ってアシュラムをおすすめしたいと思います。・・・またアシュラムセンターにも寄せて頂けたらと思います。それでは、榎本先生がますます神様のためのお働きに用いられ、強められ大きな使命を果たされますように、ご健康が守られますように。・・・皆様の上に主の栄光があらわされますように。・・・感謝と祈りのうちに

（カトリック奈良教会）

だれがいちばん偉いか
～アシュラムセンター常任運営委員長を拝命するにあたって～

鍬田 速明

昨年8月10日、早天祈祷会のあと、主幹牧師から「センターの運営委員長が空席のままで支障をきたしている。鍬田兄弟を推薦するので前向きに検討してほしい。」との要請がありました。

まさに青天の霹靂とはこのことで、唄野政一長老、後宮俊夫師と、大関、横綱級の大先輩信仰者から、いきなり十両級の私が委員長とは・・！何とアンバランスな人事かと疑義を抱き、重責に堪え兼ねて途中で放置するのではないか、いや、大事な役職に挑戦してみようか等々と様々な思いが交錯しました。

そんな悩みの渦中、突然、私の体に異変が発生しました。右脇腹全面に痛みが走り、紫色の痣が浮かび上がり、外科医は「肺癌かも」と。それと同時に右頬も腫れ上り、歯科医からは「口腔癌の恐れあり」と言われ、恐怖に包まれました。

胸の内を打ち明けた榎本和子姉からは、「あなたが迷っているから病魔に取り憑かれたのではないですか。『主のご用なり』とすぐに委員長を引き受けてくださいな。」と論され、深い、熱い祈りを天の神様に捧げていただきました。

その後受けた精密検査の結果、右脇は筋肉痛、右頬は歯周病の悪化によるものと判明し、治療後完治しました。感謝です。

9月、標記テーマに基づく1泊2日のアシュラムに参加しました。弟子達が信仰心を競い合い、母親までのり出してきてイエス様に「あなたがメシヤとして君臨される時には1人を右側に、もう1人を左側に座らせてください。」と懇願する箇所です。ここでは醜い弟子達と二重写しになる自分自身を知らされました。教会役員会で「長年役員を担当してきて、この場合は、私の意見が一番正しいのです。皆さん従ってください。」と牧師を差し置いて発言した傲慢な私がいたのです。

何もかも信頼し切って母親に抱かれて安らかに眠っている嬰児がいます。その横に自分の物は自分の物としてしっかり確保し、余り物を「イエス様、ハイどうぞ・・・」と捧げている吝嗇（りんしょく）な私が佇んでいます。恥しい限りです。

委員長に就任したあとも、嬰児の如く、私のすべてをイエス様に明け渡すことにより、逆にイエス様から神の子としての人格と愛をいただけます。その時、「神の御国」と「神の義」を味わうことができると信じて止みません。

皆様方のサポートとお祈りを心よりお願い申しあげます。

（メノナイト・ブレザレン教団）

常任運営委員会当日、早天祈祷会、共に朝食。
前日は会計まとめのご奉仕に愛妻弁当持ちで。（写真右）

夏目　淑子
實　幸宏
守弘　士朗
佐々木喜美
八木多恵子
有賀　芳子
無　名　氏
藪　千鶴
大山　悠子
榊原喜三郎
渡部美智子
桑原　亜子
鵜丹谷三千代
吉澤　昭男
吉澤由美子
岸本安佐子
堀　和子
無　名　氏
松川　卓
松川　律子
小林　保子
増井　啓子
菅田　洋子
鈴木　祥恵
石川　友子
原田　博充
安仲　萌子
薬師寺美保
仲地みどり
安達いづみ
熊野　和之
加藤　智恵
橋本るつ子
南山　伸夫
吉田　高明
榎本　恵
榎本　康子
久保三千代
竹下　高子
関原寿美子
尾崎　幹二
尾崎　恵
田辺　明子
祇園加代子
鳥谷越明子
榎本　和子
横尾かず子
安仲　萌子
野村　洋子
下村　徹嗣
下村　展子
降矢　トヨ
小松　元子
無　名　氏
朽木　順子
英和女学院
旧宣教師館
藤本　岩夫
藤原キク江
垣花　敏一
山本　美穂
伊達　洗次
渡辺　玲子
豊田千枝子
小林　宮子
79口
￥620,500

合　計
257口
¥2,212,930

尊いご献金、ご献品、お祈り、お便り、電話メッセージ、そして、共にアシュラム！感謝いたします

朽木　順子
伊達　平和
チャイムコンソート（池田チャイムの会）
無　名　氏
杉山　英一
大隈　徳雄
大隈　潤子
廣石　聡子
谷本めぐみ
丹治　洋子
山本　英夫
堺大浜キリスト教会
田中　悦子
坂本　伸代
沖田　和恵
水溜千枝子
横山　宜和
東谷　誠
金田佐久子
160口
￥147,5130

ヨセフ基金（義援金）
廣石　聡子
センター合同クリスマス礼拝
西野　栄子
堀　和子
安仲　萌子
安達いづみ
吉田すみゑ
竹下　高子
冨山　桂子
ちいろば アッちゃん・シュラム君
川西　裕子
菅原　博
米田　歌子
森　弘子
朽木　順子
杉山　英一
16口
￥109,300

誕生日感謝
黒澤ヒサ子
大門　義和
大門セイ子
2口

クリスマス献金
廣石　聡子
大脇　俊子
大和カルバリーチャペル
大川　従道
佐々木春代
宮田　輝男
儀間　良子
佐藤　和子
中道　晴夫
中道　悦子
真木　芳子
松村　玲子
松田　公子
山田　秀穂
長村冨美子
黒澤源之助
黒澤ヒサ子
新井みつ子
新井　洋子
西野　栄子
古川　良男
横田　輝子
川島　睦子
近藤　靖子

証し②

石田 哲夫

2. わたしの病的体験から学ぶ

40年前、某総合病院で労働組合の執行部の役員を務めていました。その頃の組合活動は政治活動や賃金、労働条件改善の運動が活発で、常に何らかの改善が出来る時代でした。ところが組合員は団結どころか、各職種間の利権争いで、執行部が当局交渉で獲得した結果にも不平不満が噴出する始末でした。その上、地方選挙も加わり、連日の選挙活動に翻弄され、わたしは疲労困憊となり、置かれた状況に怒るに怒れず、抑うつ症状にのめりこんでいきました。

今年の年頭アシュラム、
ファミリー祈りの友と。（後列右）

わたしの初発症状は抑うつ感情に捉われたものではなく、起立していても倒れ込みたくなるような平衡バランスの崩れでした。歩いていても足元が常にフワフワした状態で力なく、姿勢のバランスを保つのに四苦八苦した末、主治医に相談したところ、「自分の自信のなさが体全体に現れている証拠である。」との指摘でした。そこから程なく抑うつ感情が押し寄せてきました。当時の情景は、野の草花から人々の動きまで、生きているもの全てが白っぽい命を失った紙でできた造形物として目に映りました。爾来10年間は鉛のような重い身体に押し潰される恐怖に怯えながら歩んできたことを思い出します。ことに毎年夏に行われていた福井市での聖書講習会への道のりは辛く、夏のじりじりと照りつける暑さと駅の長いプラットホーム、桟橋を上り下りする歩みに加わる体の重さはさながら高い山を喘ぎながら登っている心境であったことを今もありありと思い浮かべる事ができます。

抑うつ患者の病前生活として執着性気質があげられ、几帳面、熱中性、徹底性、義務感、責任感の強さが指摘されています。わたしは医師から思考過程の柔軟性の欠如を指摘されました。「考えが硬すぎる。もっと柔軟にならないと、もっといい加減で手抜きをしなければ駄目だよ」と医師は私の苦しみを思い、休養を促す声掛けとしての配慮であったのでしょう。この執着気質の真面目さに、世間は「彼らは真面目すぎた」と言います。そこでわたしは担うべき執着性気質の性格者に襲い掛かる抑うつ症状に、いかに対処すべきかを考えてきました。

（無教会　金沢畝田聖書集会）　（続）

キャロル・サック姉in台湾♪

北門教会

台湾・日本愛修会記念　高俊明牧師　伍秀英長老追悼礼拝
台南　北門基督長老教会にて

俊輝兄（写真左から3人目）、
巣立ちます！皆様のお支えに感謝します。
（カフェちいろば聖書入門講座にて）

⬆留守番役の和子母、お元気！（皆、台湾に…）

⬅松代姉、足の運動中。天国に元気で帰る時のため⁉後宮先生との再会を励みに

後宮松代姉の思いを受け継いで、遠方から、お料理ご奉仕の松平姉、足立姉に感謝！（常任運営委員会2月）

瞬きの詩人
水野源三の世界　40

三浦綾子記念文学館特別研究員
森下　辰衛

黙ろうよ　　1983

朝露に包まれて
草も木も
黙っている

自分勝手な
おしゃべりをやめて
黙ろうよ

そうすれば
主の御声が
聞こえてくる

樹木の幹に耳を当ててじっとしていると、幹の維管束の中を流れる水の音が聞こえるのだと言います。それは、樹木のいのちの鼓動のように、血液のように感じられるもののようです。でも、他のある人は、その音は梢の風の音が響いているもので、樹木の息づかいのようなものだと言います。いずれにしても、静かにして聴くことが、まず必要です。静かにしなければ、大事なものは聞こえないのです。詩作や祈りにおいて、最も重要なことの一つが、沈黙です。沈黙の満たしがなければ豊かな創造も、語り聴く魂の応答関係もないのです。

源三さんは、草も木も黙っていると言っています。源三さんには、それがわかるのです。朝露は静かな夜にしか降りて来ません。風のない静かな朝にしか見ることが出来ない、いわば沈黙の産物です。その朝露に包まれている潤いと、騒がしい自分勝手なおしゃべりとは両立しないのです。

人間の心のなかにあるのは、ほとんど、自分勝手なおしゃべりです。人間は自分勝手なおしゃべりのことばで満ちているために、人の声も、草や木の声も、聞こえないようになっています。他のいのちの声が聞こえない。他の被造物の声も聞こえない。それよりも細い細い神さまの声は、もっと聞こえないのです。

人間のおしゃべりって何でしょうか？噂話や自慢話、愚痴やのろけ話や悪口や、あるいは論争も、時には祈りのつもりの長広舌も、高尚な神学でさえも、自分勝手なおしゃべりであることが多いかも知れません。

そして、人間の世界は人間だけの自分勝手さで終始しています。同じ人間に聴こうとしないだけでなく、それ以上に、自分のおしゃべりが、主の御声を聴くべき耳を塞いでいるのにも気づいていません。草や木は、主の御声を聴いているのです。人間だけが、主の御声から離れている。被造物のなかで、自分勝手なおしゃべりをし過ぎるのは人間だけで、声を聴く被造物たちは、しずかに聴いて、聴いたとおりに素直に、すぐに従うのです。

「来なさい」という声を聴いた花びらや葉は、すぐに枝を離れて、大地の方へと降りてゆきます。そんな草や木を見習おうよ。と、それを知っている源三さんは呼びかけるのです。

口の言葉でおしゃべりできない源三さんも、人間だから、心でおしゃべりすることがあるのでしょう。いろんな思いが、いろんな言葉が心の中に、騒がしくひしめき合ってくるときが。だから、ここには源三さんの反省と憧れもあるのです。そして「黙ろうよ」と、朝の沈黙の恵みへと招き誘っているのです。

最後に源三さんは、「聞こえる」でなく「聞こえてくる」と言っています。そこでは沈黙の時間の持続と、〈待つこと〉が必要なのです。その静かで何もないように見える時間がさまざまな心のおしゃべりを剥ぎ落としてくれるのを待ちながら、心が本当の沈黙の中に入ってゆくのでしょう。そうして、新しい季節がいつも不意に訪れるように、濃密な沈黙の持続（多分もはや時間のない）のなかで、はじめて何かが根本から変り始める。詩人は体験的にその豊穣さを知っているし、期待してもいるのでしょう。

各集会、予定変更もあり。お問い合わせ下さい。

3月の聖書教室など

【主な問い合わせ先】0748 － 33 － 4030 アシュラムセンター

6㈮	阪神ミニアシュラム（主恩教会 PM1:00）	
9㈪	福岡聖書教室 （博多クリオコートホテル PM1:30）	092－607－8251 樋口栄子姉
15㈰	ちいろば牧師記念チャペル夕礼拝・愛餐会（PM5:00）	
17㈫	大阪聖書教室（大阪クリスチャンセンター AM10:30）	
18㈬	カフェちいろば聖書入門講座 （京都・伏見区深草 PM1:30）	075－643－2476 みんなのカフェちいろば
20㈮	センター聖書教室（アシュラムセンター AM11:00）	
23㈪	静岡聖書教室（旧・英和女学院宣教師館 AM10:30～、PM2:00～）	
24㈫	東京聖書教室（御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30）	
24㈫	桜美林リトリートアシュラム（桜美林大学荊冠堂チャペル PM2:30）	

3月のアシュラムなど

21㈯	第2回 茨城アシュラム （下妻シャロームキリスト教会） 奉仕者　榎本　恵師	03－3793－4624 山本悦子師

4月のアシュラム予定

17㈮～18㈯	第27回 三重アシュラム （久居グリーンホテル AM10:30） 奉仕者　榎本　恵師	059－322－6687 高志洋美姉
29㈬	第23回 阪神一日アシュラム （主恩教会 10:00～16:00） 奉仕者　榎本　恵師	0748－33－4030 アシュラムセンター

案内チラシをご覧下さい！

2020年5月以降のアシュラム予定

5月4～6日	秋田・盛岡アシュラム
5月15～16日	第7回 北陸・金沢アシュラム
5月26～28日	第45回 教職アシュラム
6月18日～20日	第46回 加太アシュラム
6月20日	第2回 四国一日アシュラム
6月22～26日	沖縄平和巡礼の旅

あとがき

新型のコロナウイルスの報道がなされて以来、日に日に恐怖と不安が、世界中を覆うようになってきている。この号が出る頃には、収束していることを祈るが、たちまち、台湾でのアシュラムが中止になってしまった。台湾の愛修会の委員の皆さん方も苦渋の決断をされたことだろう。台湾全土から参加者が集ってくるためということだが、ハープ奏者のキャロルサックさんは、日本からの飛行機が飛ぶ限り、参加しましょうと言ってくださった。本当に感謝である。受け入れの王牧師は、メールでこう書いてくださった。「キャロルさんは、神様から遣わされた天使のように、不安な人々を慰めてくれました。」いよいよ、明日出発する。どうかこのことが、台湾のアシュラムの友と私たちとの主にある友情の証となりますように。（恵）

みことば

元アシュラムセンター代表･常任運営委員長
元日本キリスト教団甲西伝道所牧師
後宮 俊夫 師（2018.12.23召天 96歳）

わたしたちは、このことの証人です。
（使徒言行録３章15節）

アシュラムセンターでは、常任運営委員会で午前に静聴・分かち合いの時を守り、午後から協議をしていますが、年頭アシュラム以降、使徒言行録を静聴してきています。その中で「証人」との御言葉にこだわっています。今日の世情に、あの初代教会のように福音を宣教できていない自分に、また教会の現実に、いったいこれはどこに問題があるのだろうかと、考えています。

１章から「証人」との句が何度も出ます。しかもあの使徒たちや後に続く弟子たち。１章８節では「わたしの証人となる」で、イエス・キリストの証人ということで、これなら私はキリスト者としてそうですと言えそうです。けれど日常の生活の中で、どこで、どのように証人となっているかと考えると、胸を張って言えません。

２章32節、３章15節、５章32節の証人は、主イエスの復活の証人です。信仰に於いて主の十字架の死と復活とが最も大事なことであることは十分知っています。しかし、「このことの証人です」とは教会の中では言っていても、日頃の生活の中では言えないでいる自分を反省させられるのです。

主の復活を、この世の人々に、いや教会の仲間にもどう証言できるかが問われます。「信仰ではそういうことになっています」では証人になっていません。福音の伝道者として立てられているのに、これでは伝道もできていないし、信者も増えない、伝道所も成長しないのです。

使徒言行録の前編になるルカ福音書の24章44節～49節の記事は「喜びのあまりまだ信じられず、不思議がっている」（41節）使徒たちに言われた御言葉です。そして「あなたがたはこれらのことの証人となる」（48節）と言われているのです。

更に主は「高いところからの力に覆われるまでは、都にとどまっていなさい」（49節）と教えられています。このことの実践としてアシュラムが為されているのです。

2006年アシュラム誌「瞑想」より

１年間、今も生きて語りかけて下さった　後宮先生に感謝です。４月からは遠藤誠一牧師の“みことば”が始まります！（日本基督教団 安来教会牧師 山陰アシュラム推奨者 今年の年頭アシュラム奉仕者）